

送信先 報道各位  
送信枚数 本紙を含めて 2 枚  
送信日 2025 年 10 月 14 日



## 10/17(金) 動物慰霊祭開催のお知らせ (日本モンキーセンター)

平素より当財団の事業につきまして格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

例年、10月17日の創立記念日に、日本モンキーセンターで亡くなったすべての動物たちに感謝の意を表し、動物慰霊祭を執りおこなっています。69回目の今年は、この1年間で亡くなった霊長類21種37頭をあわせ、歴代の合計6,891頭を供養します(2025年10月13日現在)。

亡くなった霊長類の中には、ヤクシマザルの群れで第一位メスだった「ピヨン」、40歳目前という高齢記録で亡くなったシシオザルのメス「ドウ」、20年前のWaoランド設立前から日本モンキーセンターにいたワオキツネザルのオス「ウマズラ」などモンキーセンターの歴史を共に歩んできた個体もいます。

この慰霊祭では、飼育担当者はもちろん、日本モンキーセンターの職員全員が順次参列し、来園者のみなさまも、果物や野菜、栗やどんぐり、樹木の苗木などの「お供えもの」を持ってご参列いただけます。お供えものは後日、飼育している動物たちのために役立てます。お供えもの(リンゴ、ミカン、マンゴーなどの果物類、サツマイモ、葉物野菜など)の受け付けは、10月11日(土)から開始し、慰霊祭の当日の10月17日(金)12時30分までおこないます。※宅配でも受け付けます。

多くの方に慰霊祭を知っていただきたく、貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。

### ■創立69周年・動物慰霊祭 概要

日時： 2025年10月17日(金)13時00分～(雨天決行)

場所： 日本モンキーセンター ビジターセンター左手奥 動物慰霊碑(猿塚)前

進行： 学術部企画広報課 課長 綿貫 宏史朗

プログラム：

開祭あいさつ 湯本 貴和 (日本モンキーセンター 所長)

原 欣伸 (犬山市長)

ボイスメッセージ 竹下 景子 (俳優、日本モンキーセンター親善大使)

水田 詩織 (NMB48、日本モンキーセンターアンバサダー)

動物たちへ感謝のことば 宗像 大和 (日本モンキーセンター 飼育員)

献花・献果

13時30分頃 終了

◆感謝の言葉読み手：宗像 大和(むなかた・やまと)

アフリカ館(アフリカに生息するオナガザル科のサル類の飼育施設)の担当を経て、現在はバックヤード(入院個体や非展示個体)の飼育担当となり、治療等の調整・補助や入院個体のケアに努めている。入社4年目。ライフワークとしてキックボクシングに取り組んでおり、年間数試合をこなしている。日々、身体の鍛錬を欠かさない。

## ■資料：この1年間に亡くなった霊長類

写真：ゴールデンマンガベイ リート（オス） 2024年12月22日死亡  
「アフリカ館」で飼育



リートは1990年11月12日に当園で生まれ、34歳という高齢で死亡しました。また、国内の動物園で飼育されるゴールデンマンガベイの最後の一頭でした。

運動場の端っこで私たちを遠目で観察する、大人しく控えめな性格でした。

スマートホンのカメラが気に入らないのか、カメラをかまえるとすぐに離れてしまい、なかなか写真を撮らせてくれませんでした。アフリカ館で飼育している他の種のオス個体に反応し、マンガベイ特有の鳴き声で、一緒に鳴くこともよくありました。リートの元気だった頃の良い思い出です。

---

### 本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp

担当 : 坂口、綿貫、江藤、赤見

※その他のイベント情報などは、過去のプレスリリース原稿、またはWebサイトにてご確認ください。 <https://www.j-monkey.jp/event/>